

緑化だより

No.55 平成22年10月号



平成21年10月8日 センブリ

○きのこユーモラスネーミング
○庭木の手入れ
○花だより

○研修会報告
○研修会・イベント紹介
○お知らせ・ご案内

生き物いっぱい 自然いっぱい

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp

きのこユーモラスネーミング

外国編(7) 『Earth star 地上の星』

きのこの名前は、世界共通の学名と各国で異なった名前(日本では和名と言われる)と2通りあります。その他日本では方言名もあります。4月から外国(欧米)で使われているユーモラスな英名をとりあげています。

“地上の星”と呼ばれているキノコは日本でいうツチグリのことです。きのこの外皮が裂けた形が星形なのでそのように呼ばれるようになったと思います。日本では、毬とともに落下した**クリの実**のイメージから、この名がついたのではないのでしょうか。



星型に開いたツチグリ

このツチグリ、学名に“**湿度計**”とつけられているのにも理由があります。外皮が星形に見える時は湿度が高い時で、空気が乾燥してくると外皮が閉じて丸っこい外見になります。この時、内側のグレバと呼ばれる組織の中の胞子を、外に押し出す働きもしているのです。

ツチグリは胞子が形成される前の幼菌を食用にできます。フライパンで煎ってはじけたところを食します。星形に開いているものは食べられません。

庭木の手入れ

『10月の手入れ』

異常な猛暑も去り、ようやく季節らしい温度になりました。気温が下がると、庭木の手入れの幅が広がります。以下に、10月の手入れとして主なものを挙げます。

◎乾燥害等の手当

まず、今年の高温で痛んだ植物の手当てをしましょう。サツキ、ヒラドツツジ、マメツゲなど浅根性のものは、かなりダメージを受けていると予想されます。枝がポキッと折れるようなら枯れていますので、そういったものは思い切って抜きましょう。植栽に当たっては、植栽場所を広く深くやわらかくし、腐葉土をしっかり混ぜて植えると、乾燥しにくくなります。その他の乾燥害を受けた植物は、傷んだ枝を切り取るなどの整理をし、足元に藁や腐葉土を敷いて保護することも大切です。

◎病虫害対策

テッポウムシやドクガの幼虫(ケムシ)が活動します。また、カイガラムシは次第にロウ物質でカバーし始めますので、殺虫剤で駆除できる最後のチャンスになります。ケムシは初期ですと、1枚の葉裏に固まっていますので、葉ごと切り取って焼却することもあります。殺虫剤散布に当たっては、殺菌剤と混ぜて散布すると、病気予防にも役立ちます。カイガラムシやアブラムシの分泌物に着床し、葉や枝を真っ黒にするスス病対策に効果があり、また、葉が白っぽくなるウドンコ病も予防できます。

◎その他

肥料は原則与えませんが、これまで全く施肥をしていない場合、少量与えても構いません。花物に与える場合は窒素分が微量の物にし、発酵鶏糞や過リン酸石灰などを主体にして下さい。

水遣りは、天候によりますが、平年の気候であれば、一度たっぷりと施せば毎日遣る必要はありません。天候と相談しながら対処して下さい。

花だより

コウヤボウキ キク科コウヤボウキ属

キク科植物は世界各地で生育しており、約 950 属・20000 種、日本には約 70 属・360 種あると言われています。そのほとんどは、草本類ですが、**コウヤボウキ**はキク科の中では珍しい木本類です。

高さ 50～80cm 程度と樹高は低いのですが、よく分枝し、群落を作ります。平年ですと、センターでは 10 月下旬に咲き始めます。頭花は中に 13 個前後の筒状花が集まったもので、花冠は筒状に 5 裂しています。花は 1 年枝の先に付きますが、**ナガバノコウヤボウキ**は、例外的に 2 年枝に花を付けます。両種とも、1 年枝の葉は卵形で互生しますが、2 年枝の葉は細長く、3～5 枚の葉が束生します。両種を見分けるには、花が咲いている位置を確認します。

和名の由来は、和歌山県高野山で本種の枝を束ねて箒に利用したことによります。開祖である弘法大師(空海)が竹・桃・胡桃など利潤を得る行為を戒めるという意味で、商品作物の栽培を禁じたことにより竹箒が作れなくなり、コウヤボウキを代用したようです。また、京都伏見の酒倉では、酒桶についたにごりの泡を拭き取るのに使うそうです。

緑化センターでは、林縁や散策路沿いなどで見られますが、鹿の食害を受けているために、良好な生育とは言えない状況です。



コウヤボウキ 枝葉



コウヤボウキ 花

研修会報告

9月16日(木) 『アロマセラピーを体験しよう』

講師 アロマイストラクター 森下 芙巳子 先生

ハーブについて、効能を学ぶだけでなく、ハーブティーの試飲、手浴などで、実際にその効果を体感しました。また、ヘアローションを各自で試作してもらい、ヘアマッサージも体験しました。おかげで、参加者もころころなしか元気になって帰られたような…。



その他、9月は以下の研修会を実施しました(30日の研修会については実施予定です)。

9月10日(金) 『9月の自然探勝』 講師 広島大学名誉教授 石橋 昇

9月12日(日) 『万葉植物観察会』 講師 緑化センター職員 正本 良忠

9月20日(月) 『初秋のきのご観察会』 講師 きのごアドバイザー 川上 嘉章

9月30日(木) 『健康の秘訣～今すぐ実践できる無病息災～』 講師 安田女子大学教授 神田 博史

研修会・イベント紹介

10月2日(土) 広島県の名水について

10:00~12:00 学習室 講師 広島国際学院大学教授 佐々木 健 先生
名水博士による広島県の名水について、紹介します。

10月8日(金) 10月の自然探勝

10:00~12:00 第3駐車場集合 講師 広島大学名誉教授 石橋 昇 先生
石橋先生による毎月恒例の自然観察会です。

10月11日(月・祝) きのこと入門観察会

10:00~12:00 管理事務所前集合 講師 きのことアドバイザー 川上 嘉章
きのこのイロハを学ぶ、初心者のためのきのこ観察会です。

10月14日(木) 野生きのこ料理教室

10:00~12:00 学習室 講師 料理研究家 金本 久子 先生
野生きのこを料理し、試食してみましよう。(※要予約 先着 25名様 材料代 300円)

10月17日(日) 秋のきのこ教室

10:00~14:00 第3駐車場集合 講師 きのことアドバイザー 川上 嘉章
採集したきのこを判別してもらえます。食べられるきのこをGETしよう。
(※参加者は、採集用の入れ物をご持参下さい。)

10月20日(水) 木の実ウォッチング

10:00~12:00 管理事務所前 講師 植物研究家 清藤 徹 先生
木の実が多く見られる季節。その木の実を中心とした観察会です。

10月23日(土) 庭木の手入れについて

10:00~12:00 学習室 講師 樹木医 工藤 徹 先生
庭木の手入れともみあげについて、実習を交えての研修会です。



昨年の「野生きのこ料理教室」



昨年の「秋のきのこ教室」



昨年の「庭木の手入れについて」
研修会



昨年の「木の実・木の枝工作展」

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

◎ 展示会のお知らせ 展示場所:レストハウス

ボタニカルアート展 9月9日(木)~10月4日(月)

植物を精細に描いたボタニカルアート作品を展示しています。

木の実・木の枝を使った工作 10月2日(土)~11月17日(水)

木の枝等を使った人形や鳥の工作进行展示します。

美味なきこの写真展 10月6日(水)~11月3日(水)

美味しいきのこの写真展示をします。

◎ きのこと祭りの開催

10月9日(土)~17日(日)は、きのこ祭りとして、きのこに関する研修会・展示会を開催いたします。また、レストハウスにてきのこ汁のサービスやきのこクイズラリーも行います。

◎ 臨時開園のお知らせ

10、11月の休園日はありません。過ごしやすい秋の気候の中で、ごゆっくり園内をお楽しみください。